

平成21年教育委員会第10回定例会会議録

開会日時 平成21年10月8日 午前10時00分

閉会日時 同 上 午前11時05分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 松本 實
同職務代理 遠藤 勝男
委員 佐藤 昭
委員 面田 博子
委員 秋本 則子
教育長 山崎 喜久雄

議場出席委員

・教育次長	内山 利之	・教育振興担当部長	吉田 義仁
・庶務課長	深井 祐子	・教育計画推進担当課長	木佐森 茂
・施設課長	齋藤 登	・学務課長	土肥 直人
・指導室長	平沢 安正	・統括指導主事	江田 真朗
・地域教育課長	新井 洋之	・生涯学習課長	宮地 智弘
・生涯スポーツ課長	尾形 保男	・葛飾図書館長	高木 利成

書 記

・企画係長 平井 大介

開会宣言 委員長 松本 實 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 委員 松本 實 委員 遠藤 勝男 委員 山崎 喜久雄
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

開会時刻 10時00分

委員長 ただいまから、平成21年教育委員会第10回定例会を開会いたします。

本日は、佐藤委員が再任されましたので、一言ごあいさつをお願いいたします。

佐藤委員 改めまして、おはようございます。10月2日に区長から辞令をいただきました。

1期目のときは、全然違う畑から入って、何もわからないで、皆様方の足を引っ張っている状態でしたが、2期目は、大体わかってきましたので、皆様方の足を引っ張らないように頑張っていきたいと思いますので、引き続きよろしくをお願いいたします。

委員長 それでは、議事日程に入ります。

本日は、請願・陳情・議案はございません。

それでは、報告事項等に入ります。

報告事項等 1、「平成22年度学校選択制の実施について」をご報告をお願いします。

学務課長。

学務課長 それでは、「平成22年度学校選択制の実施について」、ご報告いたします。

まず、1の「スケジュール」をごらんください。学校選択制でございますけれども、例年、10月から年度末にかけて手続を進めてまいっているところでございます。今年度につきましては、10月5日の希望調査票の送付に始まりまして、3月9日の補欠登録者再学校選択受付終了までということで、記載のとおりスケジュールを進めてまいりたいと考えてございます。

流れでございますけれども、希望調査の受付をいたしまして、受け付けた後に希望状況の中間発表をいたします。その後、希望変更受付をした上で、その結果を最終の希望状況として発表いたします。その後、12月になりまして公開抽選会を行いまして、選に漏れた方につきましては指定校変更の受付を行います。その後、2月になりますと、私立学校の合格が発表されますので、それを受けまして補欠の繰り上げを開始いたしまして、その後、補欠の選にも漏れたという方につきましては改めて学校の再選択をしていただくという流れで4月の入学式を迎えるということでございます。

2の「受入可能人数」でございますが、次のページをごらんください。「別紙」とありますが、表面が「小学校受入可能人数一覧」、裏面が「中学校受入可能人数一覧」でございます。中学校につきましては、過去の抽選状況もあわせて記載してございます。こちらの受入可能人数の決定につきましては、基本的な考え方を3点整理いたしまして決定をしているものでございます。

まず1点目でございますけれども、これまでの学校選択の状況を踏まえまして、昨年並みの募集学級数の確保を基本としてございます。2点目でございますが、通学区域にお住まいのお子さんの分が確保できるように募集学級数を設定してございます。以上2点を踏まえまして、最後に、マンション等の建設による人口の増減の動向ですとか、校舎のキャパシティといった

物理的な制約を踏まえて、最終的に受入可能人数を設定しているものでございます。なお、小学校の募集学級数は最低でも2学級とし、さらに中学校の募集学級数は最低でも3学級ということで、募集学級、受入人数を設定しているものでございます。

1枚目にお戻りください。3の「就学時健康診断」でございます。この学校選択制の案内にあわせまして、就学時の健康診断のご案内と一緒に発送させていただいているところでございますけれども、ことしに限っては、新型インフルエンザが流行しているという状況を踏まえまして、新型インフルエンザ、季節性インフルエンザを問わず、急な発熱などの症状がある児童につきましては、就学時健康診断の受診を控えていただき、治癒した後に別の受診会場で就学時健診を受診するよう保護者に周知しているところでございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

委員長 ただいまの説明について、質問等がございましたらお願いします。

面田委員。

面田委員 ことしで中学校は6年目ということですから、小学校は7年目ということでございますよね。 中学校のほうが先でしたか。ごめんなさい。では、小学校は5年目ということで。

今までに懸案としなければいけないことの中で、先ほどのお話の中の一つは、昨年並みの学級数を確保しているということと、通学区の子どもさんはそこに入れるような人数で読んでいるというようなことでした。そこで、具体的に、例えば本田小学校でしたら、その学区に住んでいるお子さんが何名ぐらいいて、それで、接続している区域からのお子さんを何名ぐらい受け入れるというようなことは公表しないでやっているわけですか。そのあたりをお願いします。

委員長 学務課長。

学務課長 公表はいたしておりません。

面田委員 なるほど。わかりました。

では、続けてよろしいですか。

委員長 面田委員。

面田委員 ということは、例えば本田小だと75名が可能ですよね。そうしますと、もし100名あったとすれば、その中でその学区に住んでいるお子さんが40名だったら40名、それはもう抽選も何もしないということでもまず40を置いて、あとの60人が受入可能の35人のところで抽選すると、そういう意味でございますよね。

委員長 学務課長。

学務課長 はい、委員のおっしゃるとおりでございます。

面田委員 そうですか。

続けてなのですが、そこら辺のところ、学区外の親御さんのほうから意見とか苦情みたいなことは特には聞いてはいないのでしょうか。

委員長 学務課長。

学務課長 その点に関しては、特段、苦情等は伺っておりません。学校選択を実施する場合は、まず最初に、指定校の希望を選んで応募していただくのですけれども、その後に希望状況の中間発表をいたしております。その状況を見て希望を変更される親御さんもいらっしゃいますので、そういったことが手続的にあるということもあって、特に委員のおっしゃるような、「公表しなさい」「してほしい」というようなお話は伺っていないということでございます。

面田委員 はい、わかりました。

委員長 佐藤委員。

佐藤委員 ちょっとお聞きしたいのですが、中学校の場合、定員いっぱい抽選で採りますね。それで、例えば3月ぎりぎりになって、あるいは4月が始まってから、転勤だとか、いろいろなことがあって入る子どもたちもいるかと思うのですけれども、若干名ぐらいの余裕は持っているのかどうか、ちょっとお聞きしたい。

委員長 学務課長。

学務課長 委員のおっしゃるとおりでございまして、3月、4月は引っ越しシーズンで転校があるということでございます。受入人数のところをごらんいただきたいのですが、例えば中学校でございすけれども、本田中学校は150名としてございます。1学級40人でございすので、中学校の場合ですと各校10名分余裕をとっているということで対応してございます。小学校につきましても同様でございまして、小学校は5人分余裕をとって受入可能人数を設定させていただいているところでございます。

佐藤委員 わかりました。そういうことなのですね。

委員長 教育長。

教育長 この学校選択制を実施いたしまして、小学校は8年目、中学校は9年目になります。今回初めて教育委員会にこういう形で事前に報告をさせていただいたのですけれども、中学校などで抽選をやっていると、当選されなかった方から不満の声をいただいたりしてしまっていて、結構大きな重い仕事です。そういったこともあって、教育委員さんにもあらかじめお知らせして、こういう状況ですということを理解していただくために、今回報告をさせていただいたわけでございます。確かに、面田先生が言うように、ここの学区に何人子どもがいるのかというのはこの資料ではわからないものですから、今後、そういったことについても出したいと思えます。加えて、昨年は何名の募集であったのか、今回は変更があったのかどうか、そういったこともあわせて、資料の作成について、次年度以降に検討していきたいと思えます。おっしゃるとおり、これだけだと、確かにわかりにくいと思えますので、検討させていただきたいと

思います。

委員長 ほかにありませんか。

では、委員長の私からですけれども、先日、北のほうの中学校の校長がちょっと落胆して私に言ったことを皆さんに報告したいと思います。

選択制ができて9年になったわけですけれども、このように抽選を受ける学校とどんどん減っていった学校の格差が出ているというのが一つ心配されます。その校長は、学校公開をして、6年生に説明会を開くために百何十席もの席を用意したのですけれども、六つの家庭で12人しか来なくて、本当に来てもらえなかったと落胆しておりました。

そこで、教育委員会で発行している中学校や小学校の学校案内、各学校のホームページ、それから、学校公開等でさまざまな周知をしているのだと思うのですけれども、自分の行く学校は地元だという感じで行かないのか、あるいは違うところに行くから来ないのかわかりませんが、たくさんいる学区の子どもが説明を聞きに来なかったという学校も出ていて心配だなと思うことがありましたので、この説明会があるというときの小学校を通じてのPRとか、こういうパンフレットとか、学校選択制についてももう一度、6年生の保護者などに説明していく必要があるのかなということを感じました。

以上です。

学務課長。

学務課長 委員のおっしゃるとおり、確かに一部の中学校では非常に深刻な状況になっているというふうに私どもも認識しておりまして、学校においても、現実にはさまざまな取組をされて、生徒の確保ということに取り組んでいるわけでございます。委員のご指摘があったとおり、PRももう少しきちんと積極的にできるように教育委員会としても支援の方策を考えていきたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

委員長 よろしく申し上げます。

面田委員。

面田委員 それに関してです。委員長がおっしゃっている学校と、私が今イメージしている学校と同じなのかなと思ながらの発言なのですけれども、私は、近くで活躍している場面を見ることもたくさんあるのです。例えば、この間、生涯学習課がやってくさっていた学び交流館での発表。そして、そこでも、去年とことしはうんと変わっているなというのは私も感じましたし、そのときに、周りに聞こえるように、あるいは周りの方にも、「いいですね。頑張っていますよね。」と盛り上げることもやはり大事だと思うのです。それは、地域の方と私どもがよく連携をとって、足を運んで、実際に感じたことでお伝えすることがまず一つです。

それからもう一つは、実際にたくさん的人的な支援をしていると思うのです。聞きますと、

これぞと思うような優秀な教員も配置されておりますし、プラスアルファの先生方も行っていると聞いておりますし、大学生のボランティアさんが行って子どもたちと話をしている、そういうのも聞いております。そういったことを地元の人たちが十分わかってくれているとまた違うのかなという思いもありまして、そういうことも着実に積み重ねをしていますし、ぜひ校長先生の応援をしながら、声としても広めたいなという思いで聞きました。それが私どもの支援かなというふうに思います。感想です。

委員長 よろしいですか。

教育長。

教育長 今、松本委員長と面田委員がおっしゃった学校は、多分あそこではないかなと思いながら私もお答えしたいと思います。

かつてその学校は年間で十数名も逮捕者が出るという形で、非常に荒れた学校ということで、この葛飾だけではなくて、近隣の区まで風評が行くようなそんな状況がございました。実際にその地域にいる方々も、そういう固定観念みたいなものが固まってしまう。今、面田先生が言ったように我々もそこは何とかしなければいけないということで、数年にわたって優秀な教員を投入して、立て直しを図ってきたわけです。実際、徐々によくなってきてはいるのですけれども、例えば学力の面だとか、なかなか追いつかない部分があったりして、悪いときのイメージというのが完全に払拭し切れていないという状況の中で、どうしても学校選択にあたってはほかの学校を選ぶ保護者や子どもが圧倒的に多いというような状況にあります。私たちもそういう意識を持ちながら、何とかその学校が今よりよくなるように、もちろん地域も含めてなのですけれども、みんなで取り組んでいかなければいけないと思っています。学校選択というのはそういうことの一つのバロメーターにもなると思います。ですから、今、3クラス、場合によっては2クラスになってしまうかもしれないという状況なのですけれども、それが4クラス、5クラスになれるように努力していくことが大事であると思っていますところでございます。

委員長 以上でよろしいですか。

(「はい」の声あり)

委員長 よろしくをお願いします。

報告事項等2、「平成21年度上半期の教員の研修報告について」をご報告願います。

指導室長。

指導室長 それでは、報告事項等2、「平成21年度上半期の教員の研修報告について」を報告させていただきます。資料をごらんいただければと思います。

まず、「1 実技研修」でございますが、当初の予定どおり24回実施をいたしました。613人の受講がありました。同時期まで、昨年度は674人でしたので、61名減少となっておりますけれ

ども、これは、今年度、夏季休業中に新たに新任教諭研修や教育課題研修として、小学校英語活動の研修ですとか、後ほどご説明いたしますが、中学校道徳教育研修等を開催したため、減少になったのではないかとこのように分析をしております。

「2 教育課題研修」では、今年度初めて実施いたしました小学校外国語活動スタート研修では、昨年度より継続して教育推進モデル校として小学校英語活動に関することについて研究を進めていただいている、そこにお示しをしました亀青、川端、西亀有の3校の授業を区内小学校の教員215名が実際に見て、その授業から学ぶという形をとらせていただきました。

また、裏面になりますけれども、中学校道徳教育研修でございます。これについても、新学習指導要領の改訂を踏まえての中学校の道徳授業の充実というところでは、受講者の意欲もかなり高いというふうに聞いているところでございます。

続いて、「3 教育相談研修」でございます。これは、280名の受講ということになってございます。さらに、全体の夏季A・Bのところと教育相談、全部合わせて351名という数になっております。これは、昨年度と比べまして約20%の増加ということになっております。

続いて、「4 コンピュータ実技研修」でございます。これは、当初計画どおり12講座を実施いたしました。375名の受講がありました。昨年に比べて31名の増加になっております。今年度は、昨年度受講が多かった講座の回数をふやしたり、基礎と応用で対象者を明確に分けたというようなことが受講者の増加につながったというふうに考えております。

受講者のアンケート、受講者の声を若干ご紹介したいというふうに思います。

実技研修のところでは、書写のところでは「2時間集中すると疲れを感じるが、上達した実感があつた研修だ。子どもたちにも学習の成果を実感させ、書写好きをふやしたい」というような声がございました。

理科実技研修では、「水槽など具体物を使い、その得られた実験結果を一次関数に生かせるのではないかと。専門が数学だけでも、多くのことを学べた」というのがございました。

それから、教育課題研修のところでは、小学校外国語活動スタート研修のところでは、受講者から「児童の実態に合わせて教材を準備し、授業に臨んでいるということがよくわかった。あつたの授業に生かしたい」というような感想がございました。

また、中学校の道徳教育研修では、「教科と異なり、何々しようとする態度や信条を育てることが道徳の授業であるということに改めて気づかされた」というようなことの感想でした。

コンピュータ実技研修では、「中学校のICT活用のところで学んだ内容をより生かすためには、職場に1人1台のパソコンがあるといいなと思った」という本区のこれからのICTの推進計画の追い風になるような受講者の声もございました。

受講者からはおおむね好評を得ております。上半期にこの結果を生かしていきたいというふ

うに考えております。

以上でございます。

委員長 ご質問等ございましたらお願いします。

面田委員。

面田委員 ご苦労さまでした。何しろ教員が自分の資質を向上しない限り、子どもに学力をつけることはちょっと難しいことなので、こういう研修に積極的に参加している先生方がたくさんいらっしゃることにまずもってよかったなと思いました。

それで一つお聞きしたいのですが、例えば実技研修などの音楽とか図工というのは専科の先生が参加なさっているのかどうかというところを一つお聞きしたいのですが。

委員長 指導室長。

指導室長 おおむね専科の教員の参加ということです。

面田委員 なるほど。ありがとうございました。

続けてよろしいですか。

委員長 面田委員。

面田委員 特に音楽などでは、小学校も中学校も、管楽器、弦楽器を使ったクラブなどを、どの学校にもつくっていかうという考えがこちらのほうにもあるのですけれども、そういうことも含めて、ぜひ実技の研修を受けていただいて、そちらのほうへ力を注いでいただける専科の先生がふえてくることをとても楽しみにしております。

図工のほうなのですけれども、これは自分の実技をアップするというような研修なのか、いわゆる図工の指導の仕方を研修するのか、もしわかれば、その点を。

委員長 指導室長。

指導室長 それぞれの教材の開発ですとか、実際その教材を使って授業をどう進めていくかという授業研究だというふうに聞いています。例えば木材の加工で、木工の道具について学ぶというような内容もやっております。それを通しての安全確認とか安全指導というようなところも進めているというふうに聞いております。

委員長 面田委員。

面田委員 ありがとうございました。今の質問をした理由は、私が現場にいたときに、専科の先生で自分の技術だけをアップさせて、技術自体は物すごく高いレベルを持っているのだけれども、子どもの指導に関しては余り興味がないというような先生が校内に一緒にいたことがあったものですから、専科の先生方は、教諭としてのその辺の感覚をどのように持っているのかなという疑問を感じたことがあったので、先ほど質問したわけです。わかりました。いいほうになっているので安心しました。

委員長 ほかにございませんか。

では、私のほうからいいですか。

私は、前任が総合教育センターで研修を担当していましたので、この研修を担当している者から聞いたりした声がありますので、お知らせしたいと思います。

まず、実技研修ですけれども、人気のある講師とか、大変興味のあるコースについては希望がたくさんあるのだということを言われています。ですから、ニーズにこたえてコースを開いていくということが大切なのだなと思いました。

次に、先ほど指導室長が言われましたように、夏休みにほかの研修とか、小学校でいうと臨海学校とか初任者研修とか、中学校でいうと部活動とか、大変忙しくて、行きたくても行けないという人がまだまだたくさんいるのだということがわかりました。

次に、葛飾区がとてもいいことをやったと思うことを挙げたいと思います。

2ページ目ですけれども、中学校の道徳教育の研修会であります。これは、葛飾区が2年間で教員全員に受けてもらおうという取組でやっていますけれども、道徳に大変力のある講師の方からお褒めの言葉をいただいたということです。それは、「東京都内でも道徳についてこれほど力を入れている区はないんだ」ということを聞きました。それから、道徳推進教師の研修も23区の中では5区ぐらいしかまだやっていなくて、葛飾区のやろうとしていることがモデルになっているのだということを言われまして、教育振興ビジョンの「いろいろなところで道徳を進めていこう」ということが評価されているということを知って、うれしく思いました。

次に、教育相談なのですけれども、一番下の専門研修会というのは、初級コースと中級コースを受けていないとこれを受けることができないということと、この日程をこなすのがなかなか難しくて人数が減っていて、何回も募集をかけているのだけれども、こういう現状であるということなのですけれども、大変よいことだということでした。

それから、教育相談の下にありますAコースとBコース、「2学期これを聞けば大丈夫」とか、「発達障害の子に学校ができること」というのは、教員が求めている本当に聞きたいことで、これはたくさんの方が応募して役に立っているようでした。

それから、コンピュータにつきましては、指導室長が言われたように、希望の多かったところを工夫してコースを開設しているということで、これも今、本区がやろうとしているICTの教育に向けての取組で、大変いいと思います。

以上、聞いてきたことを皆様に報告し、参考にして進めていただきたいと思います。

以上です。

ほかによろしいでしょうか。

遠藤委員。

遠藤委員 このように年間を通しての研修、すばらしい実績だと思います。これは、学校で教壇に立たれたらぜひ生かしていただきたいというのが願いであります。

それにつきましても、こうして改めて講座を設けてやることも立派な研修だと思いますが、研修という観点から見ますと、私は、毎日毎日が研修ではないかというふうに思っております。その研修の一つの軸となりますのが、私は、週案簿ではないかというふうに考えております。小・中学校の週案簿は学校長との往復書簡というような観点で私は見ているのですが、そして学校長から研修を受けるというような一つ的手段ではないかと思いますが、その週案簿の提出ぐあいといいますか、作成状況というのがわかりましたら、教えていただければと思います。

委員長 指導室長。

指導室長 大体、前の週の金曜日に出すことになっているのですが、多少おくれることはあっても、提出しない教員はほぼいないというふうに聞いています。内容につきましては、全部見たわけではないのですが、学校によってその書き方にはかなり差があるというふうにつかんでおります。今、委員のご指摘にあったように、校長・副校長と教員との往復の中で、熱心にコメントを入れる管理職もいれば、その授業の項目だけを書いているあっさりとした週案に対してもコメントのない管理職もいますので、その辺、指導室としてもなるべく細かく見ながら、委員のお話にあったような、校内での毎日の研修、OJTをことしから進めているということもありますので、そこと絡めて、週案についても授業改善へ生かすという一つの資料に使っていきたいというふうには考えております。

以上です。

委員長 遠藤委員。

遠藤委員 ひとところから比べると、この週案簿を提出し、また、学校長がコメントを書くということが大分進んできておりまして、提出する人数にしましても、内容にしましても、相当よくなっているのではないかというふうに思います。大変好ましいことだと思います。

ところで、その週案簿の内容につきまして、今、指導室長のほうから、ばらばら、さまざまであるということがありましたが、この週案簿のやりとり、内容、あるいはそのやりとりについての研修というのがあるのでしょうか。

委員長 指導室長。

指導室長 週案についてということでは、初任者研修のところで、週案の書き方と、その指導いただいたものについてどういうふうに生かしていくかというような指導はございます。管理職とか、一般の教員というところはこれからというふうに考えています。実は、この夏、初任者の宿泊研修で初任者の週案を1日かけて全部見ました。やはり課題はあるなというふうに感じておりますので、それを今後管理職のほうにも伝えながら、よりいいものにしていきたいというふうに考えております。

遠藤委員 わかりました。

委員長 よろしいですか。

ほかにどうですか。

秋本委員。

秋本委員 ちょっと質問します。

このように素晴らしい研修を多数開いていただいております。ICT、コンピュータ関係の推進計画に対しては、教員にとってはとてもありがたいと思うのです。得意な方にとってはすごく楽しくできると思うのです。面田先生などと一緒にいろいろな学校の授業を見に行ったりした場面、場面で、ICT関係を活用して授業をしているところが多かったように思うのですが、得意ではない先生方ほど、コンピュータを勉強しなくてはいけないのでしょうか、全然できなくて、「得意じゃないからコンピュータはほかの若い人に任せています」みたいなことを言う教員たちにとって、そういう人ほどこういう研修を受けたほうがいいのではないかなというふうにも思うのですが、これに参加するというのは自主的なのですか。それとも、校長先生とか管理職から「行きなさい」と言われるのですか。

委員長 指導室長。

指導室長 ほとんどは希望制でございます。ただ、学校によっては、ホームページをつくるスタッフの力量を上げようということで、校長さんのほうから「この研修に参加しないか」というような勧めがあるというケースもございますけれども、ほとんどは希望制というふうに聞いております。

秋本委員 せっかく1台いただいても、使っていられない教員がいたりすると、ちょっとどうなのかなと思います。

委員長 指導室長。

指導室長 ご指摘のように、2次補正で大変な金額をかけてICTを進めていくわけですので、さまざまな方面から、「それを宝の持ち腐れにするな」ということで、次年度、本当に全員がどこまでICTを活用した授業ができるか、ICTを使ってどういう校務ができるかというスキルアップについての研修もきちんと計画して、全員にやっていただくということを進めていきたいというふうに考えております。

委員長 よろしいですか。

秋本委員 はい。

委員長 ほかにございませんね。

(「はい」の声あり)

委員長 それでは、次にいきます。

報告事項等3、「平成21年度小学校水泳記録会実施結果について」、ご報告願います。

指導室長。

指導室長 報告事項等3、「平成21年度小学校水泳記録会実施結果について」、ご報告をいた

します。資料をごらんください。

9月2日に第57回葛飾区立小学校記録会が15会場で行われました。対象は6年生、1人2種目まで出場可能という大会でございます。残念ながら、2つの小学校のそれぞれ1クラスがインフルエンザのために参加できないということがございました。その学校については、9月8日に校内で記録会をやっていただきました。今年度も1位から3位までのそれぞれの記録を資料にお示しいたしました。今年度よりスタートの方法が飛び込み中止ということに変更になりました。そのために、記録についてはすべて区内の新記録ということにさせていただいております。それぞれの会場に指導主事が参りましたけれども、子どもたち一人ひとりが自己ベストを目指して水泳大会に熱心に参加しているという報告を受けています。

以上です。

委員長 ただいまの説明に質問等はございませんか。

面田委員。

面田委員 スタート方法が飛び込み中止になったというのは、何か理由があるのですか。

委員長 指導室長。

指導室長 新しい学習指導要領の改訂に伴って、中学校のほうでそれがなくなったということでございます。

以上です。

面田委員 わかりました。

委員長 よろしいですか。

インフルエンザがはやっている中で、少し天候もよくなかったと思うのですが、無事に終わってよかったなと思います。

それでは、次にまいります。

報告事項等4、「平成21年度中学校連合陸上競技大会実施結果について」、ご報告をお願いします。

指導室長。

指導室長 それでは、報告事項等4、「平成21年度中学校連合陸上競技大会実施結果について」、ご報告をいたします。

本年度、本大会は、10月2日に総合スポーツセンター陸上競技場で、全中学校24校、参加生徒855名で開催をされました。教育委員会からも参加いただきましてありがとうございました。実施結果は、別紙の資料のとおりでございます。今年度はあいにくの天候ということで、雨の対応といたしまして、開会式は生徒は自席で行い、開会式の内容は、国旗・区旗・連盟旗掲揚、区歌斉唱、優勝旗・優勝杯の返還、選手宣誓を実施と、縮小した形で組ませていただきました。また、予選をなくしてすべての競技をタイムレースというふうにさせていただきました。当日

の対応といたしまして、教育委員会からタオルとレインコートを各学校に配付するということをさせていただきました。天候が不順ということもあって、その準備をしていない学校があったということも含めまして、今後は打ち合わせ会においてそのような雨対応等を用意させるような徹底についても進めていきたいというふうに思っています。

さらに当日は、バスの運転手が行き先を間違えるということがございまして、堀切中学校の到着がおくれたために40分おくれの開催ということになりました。この件につきましては、バス会社から教育委員会に対して謝罪と説明が先日ございました。

競技についてですけれども、各種目で接戦が多く、得点が同点となるという状況がございました。同点の場合は、上位入賞者の数が多い学校が上位ということになります。また、大会では、4種目において新記録が樹立されました。今年度から全天候型のトラックで行いましたので、多くの新記録が出たのかなというふうにも考えています。

ご紹介いたします。

新記録。共通男子400メートル、新宿中・色魔有騎君、53秒70。共通女子1,500メートル、東金町中・矢野汐織さん、5分7秒26。同種目で、常盤中・足立和歌子さん、5分10秒50。共通男子400メートルリレー、高砂中が46秒23という記録でございました。

裏面をごらんいただけますでしょうか。

10月1日には、葛飾区体育協会・小学校体育連盟主催で陸上記録会が開催されました。31校、172名の6年生児童が参加をいたしました。結果についてはそでご紹介させていただきます。

以上でございます。

委員長 ご質問等ございましたらお願いします。

遠藤委員。

遠藤委員 大変な雨の中の大会でありましたが、子どもたちは元気いっぱい全力で駆けたり、競技をしておりました。私も初めから終わりまで見学をいたしまして、大変感動した1人です。その中でも、教育委員会としましても、タオル、レインコートをすばやく用意をいたしまして、子どもたちの健康管理の面で尽力をしていただきましたことに対して、心から感謝を申し上げる次第であります。つきましては、この大会のスタートに当たりまして、残念なことには、バスが約1時間おくれまして、そして、競技ももちろん1時間おくれってしまったわけではありますが、これは公式の大会ですと、恐らく参加できないような事態もあるのではないかと思います。たまたまこういう区内の大会でありましたので、無事に参加できて全員で競技ができたということは大変喜ばしいことではありますが、それにつきましても、このバスがおくれた原因につきまして究明されているかどうか、その辺、わかりましたらお話をさせていただきたいと思います。

委員長 指導室長。

指導室長 その件につきましては、大変申しわけないのですが、私ども、直接はその原因についてということでは詳細な報告を受けておりませんが、業者と担当のほうでは詳細について説明を受けているというふうに聞いております。

委員長 担当部長、お願いします。

教育振興担当部長 せんだって責任者の方が来られまして説明がございました。一つは、開催場所は当然ながら葛飾区の総合スポーツセンターということで依頼をしたわけでございますけれども、受けた支社から本社にまた行きまして、本社からそれぞれのバスの営業所に手配するのですが、その本社から各営業所に手配したときの手配指示書の内容が「葛飾区総合スポーツセンター」の「葛飾区」というのがとれてしまって、受けた営業所が足立区の営業所だったものですから、てっきりその行き先の指示書が足立の総合スポーツセンターと。そういうことでのミスがあったということの説明と謝罪が先だって責任者からございました。

以上です。

委員長 遠藤委員。

遠藤委員 これは絶対に許されるようなことではなくて、多くの方々に心配と迷惑をかけるわけですので、今後、このようなことが二度とないようにお願いしたいと思います。それにつきましても、これは大人の世界のこととありますので、それについてのペナルティというのはあるのですか。

委員長 担当部長。

教育振興担当部長 当然、今回、1時間おくれたことで、生徒さんを初め、皆さんにご迷惑をかけたということで大変申しわけなく思っております。会社のほうとしましても、なぜこれがこのような形でミスをお犯してしまったかということで、社内でも二重チェック体制にするとか、そういった原因を追及して、その対策をということで説明がございました。私どものほうは、その説明と同時に、報告書なり、社内でも追及した結果、あるいは対策を含めて報告書を出してほしいということで会社側のほうに指示をしたところでございます。先だつての話だったものですから、その報告書はまだ手元に来てございませんけれども、それを見て所管課と協議して、しかるべきペナルティをしたいというふうに考えてございます。

委員長 よろしいですか。

遠藤委員 結構です。

委員長 ほかにございませんか。

では、私のほうからですが、当日、応援に行きましたので、感想と今後のことについて参考になることを申し上げたいと思います。

走路が全天候舗装になって、例年ですと、あの雨ですと、前の日からもう実施は不可能という状況でしたけれども、実施できたのはよかったですと思います。そして、ああいう状況の中でも

大会新記録が出たということは、競技場がリニューアルできたおかげだと思います。ただ、走路はよくなったのですけれども、雨が降っておりますので、選手が控える場所がなく、学校によりましてはテントもなく、防寒着もなく、傘も差さない生徒がいて、大変心配しました。質問なのですけれども、その後、今はやっている新型インフルエンザが増えたとか、あるいは学校を休んだ生徒が出たかどうかということの一つお聞きしたいと思います。

それから、今後の運営においては、走路がよくなったので、多少の雨では実施するので、防寒着やテントやいろいろなものを用意していくように事前の会議で徹底していくべきだと思います。

以上です。

指導室長。

指導室長 2日の金曜日の実施でございましたので、5日の月曜日の登校状況について調査をいたしました。先ほど申し上げました参加855名、5日の欠席が28名、3%ということですので、大会による影響ということではないというふうに考えております。また、その後、常盤中の1年2組が学級閉鎖をいたしましたけれども、これについては連合の陸上大会とは直接は関係ないだろうということですので、今回の大会を引き金としてインフルエンザがはやったというふうには現在のところは把握してございません。

委員長 ほかにご質問等ございませんか。

この件はよろしいですか。

(「はい、結構です」の声あり)

委員長 報告事項等5、「平成20年度葛飾区各会計歳入歳出決算の審査について」をご報告願います。

庶務課長。

庶務課長 それでは、報告事項等5、「平成20年度葛飾区各会計歳入歳出決算の審査について」をご報告申し上げます。

9月29日に、平成20年度決算に係ります決算審査特別委員会第4分科会、これが教育費の審査でございますが、開催され、審査がございました。各会派等からのご意見をいただきましたので、ご報告をするものでございます。

1ページをおめくりください。まず、自由民主党の議員団のご意見でございます。

読み上げさせていただきますが、教育費については、適正に予算執行されているものと認定しますというご意見です。中学校の夜間照明の設置は部活動、あるいは地域のスポーツ・コミュニティの拠点として、また、災害時の避難所として幅広く活用でき、地域住民にとって大変に有効ですということです。今後も夜間照明設置については積極的に進めていただくよう望みますというご意見でございます。また、もう一つ、文化、芸術振興経費については、すばらし

い公演が多数開催されているにもかかわらず、公演する関係者が観客の多数を占めているように見受けられると。こういったご意見をいただいて、今後広く一般の方にもご来場いただけるよう今後の取組みをお願いしたいということでございました。続いて、新中央図書館の開館を目前に控えておりますが、地域図書館の充実にも取り組んでいただきたい、こういった意見を自由民主党議員団からいただいたところでございます。

続いて、葛飾区議会公明党からのご意見でございます。

教育費については、学習サポーター事業、あるいは小中一貫教育など、教育振興プラン、教育振興ビジョンのことだと思えますけれども、着実に推進、子どもたちの教育環境を整備する取組みが見られ、評価しますというご意見でございます。また、校庭の芝生化事業が温暖化防止対策の一環として、または環境学習の推進のために行われているわけですが、この点についてもご評価をいただいているところでございます。さらに、総合スポーツセンターの陸上競技場、トラックの全天候化の改修についても、スポーツにいそしむ機会を広げることになり評価しますというご意見。また、中学校の職場体験事業、1,032事業所の企業の協力による全校実施を高く評価しますということでございました。あと、中学校の夜間照明については、評価いただいたと同時に、着実な設置の推進を求めますということでございました。

下のほう、「なお書き」の部分でございます。これは、審査の中でやりとりいただいて、副校長先生が大変お忙しい状況にあるというようなご意見をいただいた中で、副校長先生のサポート体制の整備などについて特段の取組を求めますというようなご意見をいただいたところでございます。

続いて、日本共産党の葛飾区議会議員団からでございます。

教育振興ビジョンに基づき、差別選別、競争教育を子どもたちに押しつける学力テストの結果公表やテストは中止し、その時間を授業に充てて全体の底上げを図るべきというようなご意見が一つ。それから、学校選択制導入によって地域性が希薄になり、コミュニティが破壊されているといったご意見。また、地域に根ざした学校づくりを進めること。授業時間確保を理由に、夏休みの短縮ですとか、あたら高原学園の宿泊日数の縮小などは認められないというご意見。30人学級は全国的流れであり、実施を求めるといった意見。また、深刻な低所得者がふえるもとの、就学援助の基準をもとに戻しなさいといったご意見。あと、図書館関係では、不便地域である堀切・小菅地域に早期図書館開設を行うべき。こういったご意見をいただきました。

続いて、民主党葛飾でございます。

教育費について、適切な執行であると認識しており、おおむね評価するというご意見でございます。教育総務費という分野では、中学校の職場体験について引き続き教育委員会がサポートしていくことを望むというような意見。クラスサポーターの派遣事業については、原則、1

学期の派遣ということですが、必要に応じて2学期以降も派遣しているということではあるが、今後も柔軟な対応を望むというご意見。中学校費については、夜間照明の利用率が高いということがありますので、今後は複数校の設置も求めるというご意見。また、社会教育費でございますけれども、中央図書館オープン、資料の充実ですとか、利用者の利便性に最大限配慮し、特定の分野に力を入れるなど、特色ある図書館づくりを目指してほしいというご意見でございました。

また、葛飾区民連合でございます。

教育費につきまして、おおむね評価するというご意見でございます。まず、中学生の職場体験は大いに効果があったというご意見で、今後も引き続き実施され、生徒の心豊かな教育を望むというご意見でございます。また、学校の耐震工事は20年度で小・中学校はすべて完了したところでございますが、実に高く評価するというご意見でございます。また、学力テストにつきましても、これは学力向上に不可欠であり、今後の成果を期待するというご意見です。あいさつ運動、「早寝・早起き、朝ごはん」運動は徐々に定着するよう努力していただきたいという要望でございました。また、読書運動、あるいは作文コンクールは生徒の向上に大いに効果があるというご意見でございます。また、特色ある学校づくりにつきましても、地域に誇れるような特色ある教育活動、あるいは地域の人々の協力による伝統文化の促進など、それぞれ創意工夫を凝らしたことについて高く評価し、今後のよりよい学校づくりに期待する。こういったご意見をいただきました。

最後に、無所属でございます。

工藤きくじ議員でございました。教育振興対策、学校教育の充実、社会教育の進展、生涯学習の改善及び社会体育行政の改革に努力が一層見られるというご意見でございます。しかし、教育の課題は山積している。教育を振興させるために各種事業を教育委員会として執行しているが、学校教育が行うべき内容に介入している事項が多少あり、再検討すべきだというご意見。また、学力・体力の向上には創意工夫が見られるが、教員の各種事情によりやむを得ず自習時間が生じた場合に考慮し、学校経営のあり方ですとか、教員の組織上の連携化等を図る努力を指導室に期待するというご意見。また、生涯学習に関しましては、欠かせない事業であり、一定の成果をおさめているが、社会教育主事の積極的指導力を期待するというご意見をいただいているところでございます。社会教育に協力されている各種団体とは常に連携をとり、地域の意見に忠実に耳を傾けることといったご意見。また、体育行政、スポーツ関係でございますが、進展は高く評価するが、その足跡には体育協会の奉仕の精神に尽きる。助成金の大幅な増額を求めるといったご意見をいただきました。また、最後のところ、教育委員の制度改正により保護者からの選出は成果をおさめているというご意見で、これは審議の中で、平成20年4月以降の活動の状況などについてご質問をいただきまして、私のほうで平成20年4月以降からの教育

委員の新たな体制の中でのさまざまなご活動について答弁を申し上げた結果として、このようなご意見をいただいたというところでございます。

各会派等の意見についてのご報告は以上でございます。よろしくお願ひいたします。

委員長 ただいまの説明についてご質問等ございましたら、お願ひします。

よろしいですか。

佐藤委員。

佐藤委員 これを見せていただきますと、おおむね好意的なご意見で安心したのですが、ふだん会うといろいろ注文が多いのです。随分いいことを言ってくれるな、ありがたいなと思っています。

それで、自民党さんから出ている介護保険の特別会計などというのは全然関係ないですね。

それと、民主党のほうの意見から、クラスサポーター派遣事業のことが言われているのですが、現場サイドに言わせると、やはりお願ひしたいというご意見が結構多いので、私のほうからも、できますればよろしくお願ひいたしたいと思ひます。

以上です。

委員長 庶務課長。

庶務課長 申しわけございません。実は第4分科会の中に、介護ですとか、後期高齢者医療事業ですとか、そういった特別会計の審査も含まれておりますことから、各会派でコメントとして書いてございますが、今ご報告したのは教育費に関してということでございますので、よろしくお願ひいたします。

委員長 指導室長。

指導室長 クラスサポーター派遣事業、いわゆる小1プロブレムの解決のためということ、1学期のみ入れているという事業でございますけれども、実際には、1学期を終える段階で、二十数校派遣しましたうちから4校、どうしても2学期も延長してほしいというお声がありまして、現在2校に追加というような形で支援をしているところです。本来は、やはり小1プロブレムを解決するのは、学校の担任がやっていただかなければ、それは小2プロブレム、小3プロブレムになるわけで、何とか1学期中に慣れない子どもたちをしっかりと指導してほしい、そこで実際にクラスサポーターがいなくなった2学期を踏まえてどうやっていくのかということをお話にはよくお話をさせていただいています。ただ、本当に厳しい学校もありますので、ご要望いただいた学校につきましては指導主事を派遣して、子どもの実態、担任の力量、学校全体の体制等、総合的に見させていただきながら、弾力的にもやらざるを得ない時代もあるかなというふうには考えております。

以上です。

委員長 ほかにございませんか。

よろしいですか。

報告事項等は終了しますが、ここで教育委員の皆さんから発言がありましたら、お願いします。

面田委員。

面田委員 私は先日、ある学校の公開授業と、それから、道徳の公開がちょうどあるので、様子を見させていただきました。毎年その学校には行っているのですが、いつも保護者の方の私語が随分多くて、「子どもたちがこんなに頑張っているのにどうということなのでしょうね」と校長先生といつも最後に校長室でお話をしているのですね。ところが、今年は私語がないのです。校長先生にそのことを申し上げましたら、やはり校長先生が何かの折におっしゃったのと同時に、もう一つ私を感じたのは、学校全体の雰囲気、勉強のときはしっかり勉強するんだという雰囲気がどの教室にもすごくあったのですね。だれていないというか。やはりそういうことを見ている親御さんにも伝わって、きっと、こんなところでおしゃべりなんかできないわというような状況になっているのだなと思ったのです。ということは、先生方自身も毎時間毎時間をきちんと積み重ねてきているから、たまたま学校公開の日もいつもと同じようにできた。その日だけちゃんとやれといっても、それは子どもですからできませんから。そういうふうに学校が変わってきているのだなという思いを感じて、校長先生と「すごく変わってきていますね。先生方の授業に対する思いも変わってきているんじゃないですか」などと話をしたのです。親御さんにいろいろなことを言うことも大事だけれども、まずは、教室の中で子どもたちに対して教員が真剣に向かっている姿ということが親を変えていくのだなということを実感したので、大変うれしいと同時に、それが一番大事なのだ。お母さんたちに、こうしてください、ああしてくださいという前に、そのことが大事なのだということを感じたことでした。その学校は、校内研究もしっかりやっていますし、私としてもうれしいなという思いがあったので、今報告をさせていただきました。ありがとうございます。

委員長 ほかにございませんか。

ないようですので、続いて、「その他」の事項に入ります。

庶務課長、一括してご説明をお願いします。

庶務課長 それでは、「その他」についてご説明を申し上げます。

「1 資料配付」でございますが、今回は2種類ございます。

一つは、東京都の「みんなの生涯学習」という冊子の97号でございます。地域応援団の記事等が中心になった内容になってございます。葛飾におきましてもさまざまな取組をしておりますので、ご参照いただければと思います。

続いて、郷土と天文の博物館の「博物館だより」の第96号でございます。これは、埼玉県立の嵐山史跡の博物館との共同企画展示「葛西清重とその時代」といったもののお知らせなど

が内容となっておりますので、これにつきましても後ほどごらんいただければと思います。

続きまして、「出席依頼」でございますが、1件でございます。11月20日金曜日でございます。午後4時30分から教育委員会室におきまして読書感想文コンクールの表彰式でございますが、これにつきましては松本委員長のご出席をお願い申し上げます。

次回以降教育委員会予定につきましても、議事日程の中に記載をしてございますので、改めましての日程のご確認をお願いいたします。

以上でございます。

委員長 よろしいですか。

(「はい」の声あり)

委員長 以上をもちまして、平成21年教育委員会第10回定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会時刻 11時05分